

神奈川県農業技術センター

かながわ農業を支える技術開発と普及

都市農業の持続的な発展を支援するため、農業技術の研究・開発を行っています。また、農業経営の改善等に役立つ新しい技術や知識を農業者へ普及指導するとともに、担い手の育成・確保に関する支援などを行っています。

研究開発

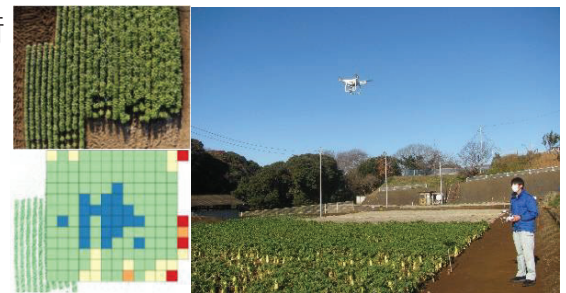
- かながわらしいスマート農業を促進するための技術開発
- 消費者・実需者ニーズに対応した経営、流通技術の開発
- 地産地消を推進するための新品種の育成や高品質・安定生産技術の開発
- 特色ある地域農業を支援するための技術開発
- 農業生産の環境負荷の軽減や脱炭素化に向けた生産技術の開発



イチゴ新品種「かなこまち」

普及指導

- 新規就農者の定着、経営発展を目指す農業者の経営改善等の支援
- 県民ニーズに応じた安全・安心な農産物の生産・販売の取組支援
- ICT（情報通信技術）、ロボットなどの先端技術を活用したスマート農業の取組支援
- 気候変動に対する適応策、有機農業などの環境保全型農業や自然災害への対応等の取組支援
- 地域農業振興に向けた取組支援



「ドローン」を活用したセンシング技術開発

病虫害防除業務

- 予察・防除指導業務
- 農薬・肥料業務

組織

■ 本所

- ・ 管理課
- ・ 企画経営部（研究企画担当、普及企画担当、経営情報担当）
- ・ 生産技術部（野菜作物研究課、果樹花き研究課）
- ・ 生産環境部（土壌環境研究課、病虫害研究課、品質機能研究課）
- ・ 普及指導部（野菜課、果樹花き課、作物加工課）
- ・ 病虫害防除部（予察・防除指導班、農薬・肥料班）

■ 横浜川崎地区事務所

- 北相地区事務所（研究課、普及指導課）
- 三浦半島地区事務所（研究課、普及指導課）
- 足柄地区事務所（研究課、普及指導課）



スマート農業の試験栽培を行う「ICT温室」

環境負荷を軽減するトマト栽培の試験



ホームページURL

<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/cf7/cnt/f70030/>



神奈川県オリジナル品種

イチゴ「かなこまち」

「かなこまち」は、「紅ほっぺ」と「やよいひめ」の交配から誕生した新品種です（令和2年9月2日 品種登録出願）

令和3年6月から生産者の栽培が始まり、徐々に拡大中です

特徴

- ★ 甘みが強く、酸味とのバランスがよく、ジューシー
- ★ 果実は鮮やかな赤色で大きい、果実の中まで赤い
- ★ 12月中下旬ごろから5月ごろまで収穫できる

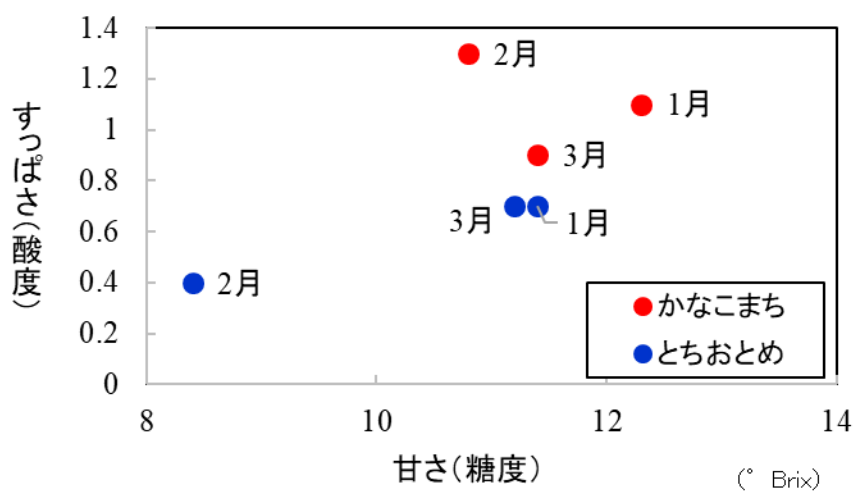


図1 月別の糖度と酸度(かなこまち、とちおとめ)

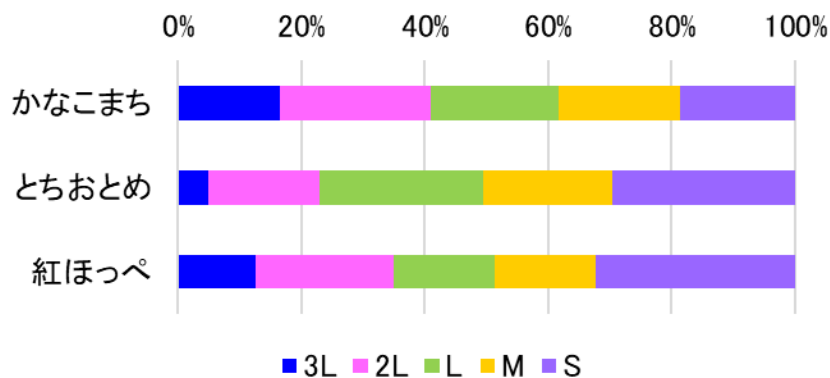


図2 果実の規格別割合[※]

注: S(5.0~9.9g)、M(10.0~12.9g)、L(13.0~16.9g)
2L(17.0~24.9g)、3L(25.0g以上)



写真 上:収穫期の果実
下:果実断面

「かなこまち」という名前には「神奈川県生まれの美しくて美味しいイチゴ」という意味が込められています